

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	工業情報数理	2	2	デザイン	必修	精選工業情報数理 (実教出版)

1. 学習の到達目標

デザインの制作および制作工程において、コンピュータを使った情報表現は必要不可欠なものとなっている。デジタルの表現において必要なコンピュータの知識、情報リテラシー、データの制作・管理方法、グラフィックソフトを使うための基本的な知識と操作方法など、情報技術に関する基礎的な知識を習得し、情報化社会に対応できる生徒を育てる。

2. 学習の評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	コンピュータにおける基本的な知識と技術を性格に理解し、情報として表現できる能力を身に付けている。	コンピュータを活かして情報表現できるような思考・判断能力を身に付け、ソフトウェアを使いこなすことができる。	コンピュータに関心を持ち、その基本的な知識と技術の修得に意欲的に取り組む態度を身に付ける。
評価の方法	授業観察・定期考査	授業観察・実践演習・ワークシート	授業観察・学習への取り組み状況・実践演習

3. 教科からのメッセージ

インターネットやコンピュータと聞いて、自分の身近に感じますか？意識していなくても、皆さんは日頃からインターネット等の情報化社会の中にいます。また、その中で健全かつうまく情報を扱うための方法を身につけていなければ、便利なインターネットは自分や他人を傷つける場にもなります。コンピュータや様々なソフトウェアのことを正しく知って、自分の思い通りに表現できるようになりましょう。

4. 年間指導計画

4月	【産業社会と情報技術】 ・コンピュータの特徴および産業社会情報化社会のモラルを身につける。 【コンピュータの基本操作とソフトウェア】 ・コンピュータの基本操作を知り、ソフトウェアの基礎・応用を身につける。 【ハードウェア】 ・処理装置と周辺装置についての知識を身につける。
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月 11月	【アプリケーションソフトウェアの活用】 ・図形処理（ドロー系）アプリケーション、日本語ワードプロセッサ、表計算ソフトウェア、プレゼンテーション支援ソフトウェアの使い方を習得する。
12月 1月 2月 3月	【プログラミング、ハードウェア、ネットワークの活用】 ・コンピュータネットワークおよびネットワークの通信技術についての知識を身につける。 ・プレゼンテーション能力を養う。